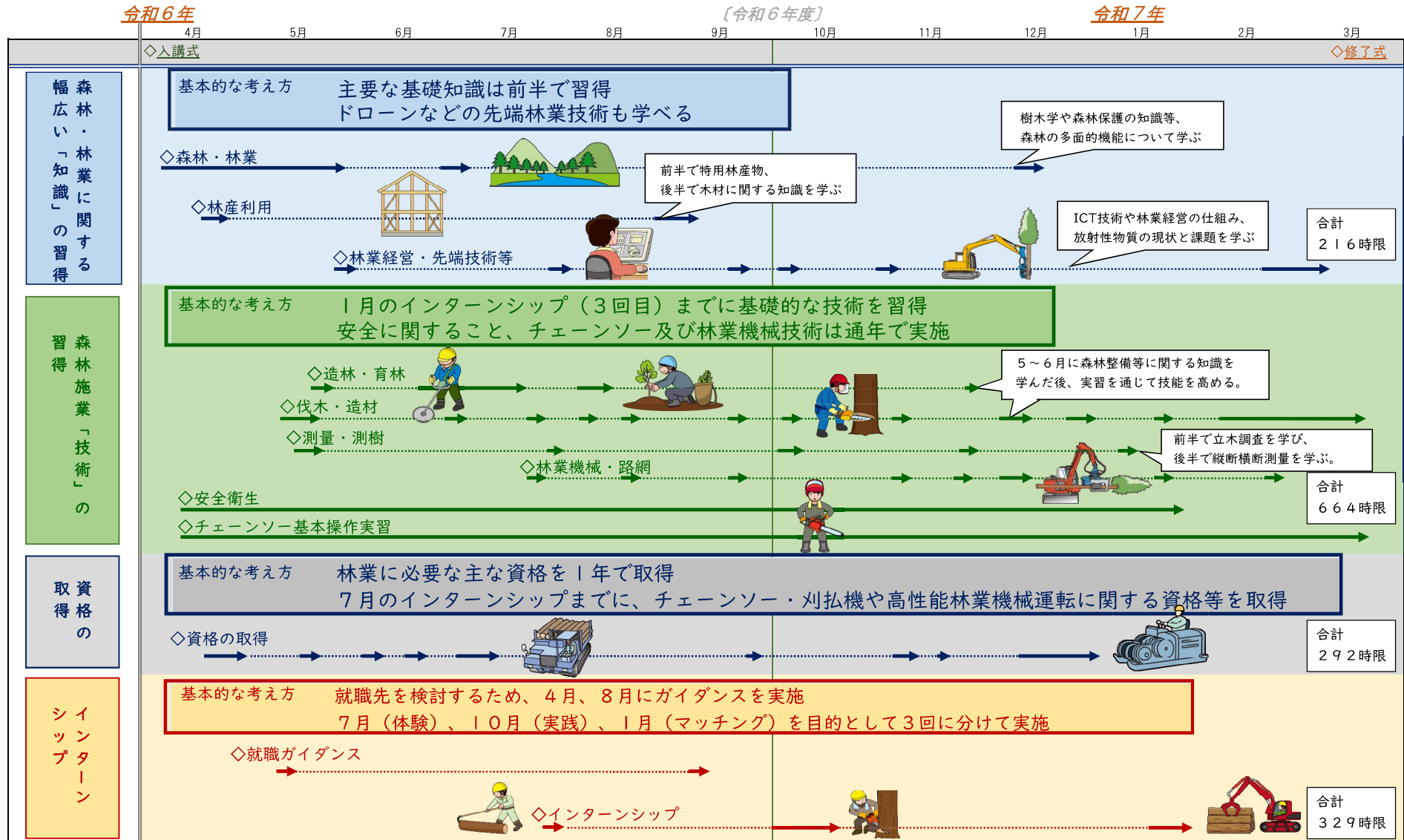


林業アカデミーふくしま 長期研修カリキュラムの基本的な考え方と年間スケジュール

基本的な考え方（共通） 「安全」を最優先としたカリキュラム
「適期」の研修を実施するとともに、各研修の「つながり」を意識
「自己啓発」（自主学習）の時間を設け、研修生の主体的な学習を促進
「チェーンソー技術」を通年で実施し、実践的な技術を習得



□ 令和 6 年度（第 3 期）就業前長期研修生について

1 概要

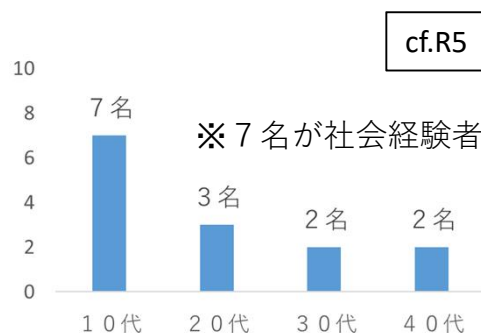
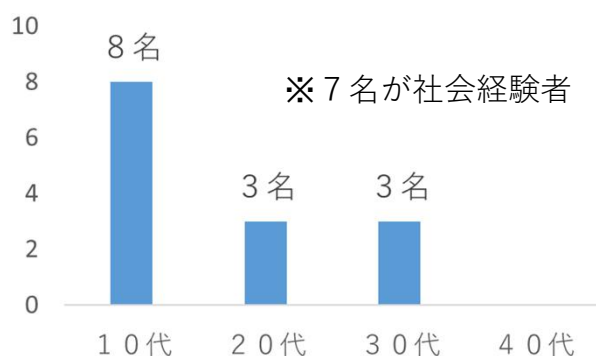
- ① R6は、高校卒生 7 名、社会人経験者 7 名とそれぞれ半数。
社会人経験者は、19才～31才と若い世代の転職。
- ② R6は約 6 割強が中通り出身者で、特に郡山市などの県中方部が多い。
- ③ 入講動機は、家業との関連は 3 名と少なく、森林・林業への興味による入講が 8 割と大半を占める。

2 研修生について

(1) 人数 14 名（男性 11 名、女性 3 名） cf. R5 14 名（男性 11 名、女性 3 名）

(2) 年齢、出身地等

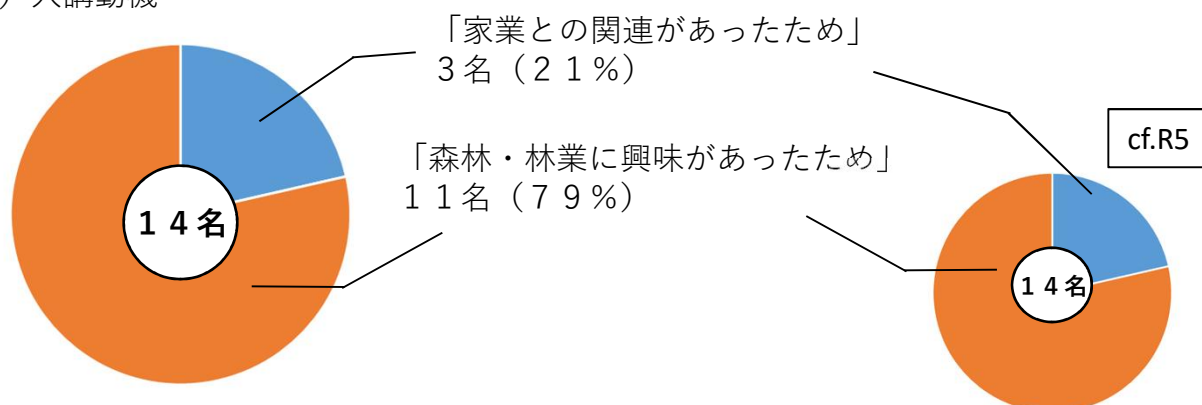
①年齢構成



②入講前の居住地方部別

方部	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	県外	計
R6	2	5	1	2	1	-	2	1	14
cf. R5	5	6	1	-	-	1	-	1	14

(3) 入講動機



研修の様子（令和6年4月から9月）

○4月の研修内容

●森林・林業に関する幅広い「知識」の習得

林業に携わるうえで基本となる知識の習得と、実際の林業の現場視察等を行いました。

森林・林業の基礎知識や特用林産物の知識のほか、鉋、鋸などの手道具の扱い方を学びました。また、古殿町と白河市で伐採と地拵えの現場を視察しました。

●森林施業「技術」の習得

林業労働災害の現状やその防止に関する知識を学んだほか、キックバック装置や枝落下装置を用いて事故を擬似的に体験することで、安全な行動や装備を身につけることの重要性を再確認しました。

●資格の取得

「伐木等業務に係る特別教育」及び「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」を受講し、資格を取得しました。また、救急法基礎講習も受講しました。

●インターンシップ

同僚や上司と仕事を円滑に進めるためのコミュニケーションスキルを学びました。

また、就職ガイダンスとして県内の林業事業体等の特徴等を学びました。研修生は就職を意識しながら意欲を高めることができました。今後の研修では一つ一つ知識を深めるとともに、実習を通して技能の定着を目指します。



伐採現場を視察する研修生たち

○5月の研修内容

●森林・林業に関する幅広い「知識」の習得

4月に引き続き、森林・林業の基礎知識を学びました。

●森林施業「技術」の習得

「立木調査」の講義では、樹高や胸高直径を測定し、それを集計するための方法を学びました。森林の現況を知ること、今後必要な施業内容や、施業を実施するための具体的な計画を立てるために不可欠です。

「刈払機の取扱と安全性の追求」及び「チェーンソーの取扱と安全性の追求」の講義では、(株)スチール及びハスクバーナ・ゼノア(株)を講師にお招きし、メンテナンス方法を学びました。

●資格の取得

「救命訓練」の講義では、救急員養成講習を受講し、三角巾による止血法や患部の固定法などを何度も繰り返し練習しました。筆記と実技の試験では、全員が無事合格することができました。

「車両系建設機械運転技術」の講義では、山で切った木を市場などに搬出するための道を作るのに必要なドラグショベルなどの重機の運転技術を学びました。



メンテナンス方法を学ぶ研修生

○6月の研修内容

●森林・林業に関する幅広い「知識」の習得

「樹木学」の講義では、妙見山実習フィールドにあった約30種類の樹木の名前と特徴を学びました。

●森林施業「技術」の習得

「造林・更新」「下刈り、つる切り、除伐、枝打ち」「間伐」の数十年にわたる森林施業の一連の流れを四日間かけて学びました。皆伐した後の地拵えや植え付け、苗木の生育を補助するための下刈りやつる切り、雑灌木や不良木を伐る除伐や無節材を作るための枝打ち、そして林木の密度を減らして質の良い材を育てるための間伐など、しっかりとしたイメージを持って作業に取り組むことの重要性を学びました。

また、「育苗」の講義で、苗木生産の一年間の流れや、樹種とその用途について学びました。

●資格の取得

「不整地運搬車運転技術」の講義では、資材の運搬作業を行うための不整地運搬車の運転技術を学びました。

「走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎」の講義では、フォワーダやフェラーバンチャ、スイングヤードなどの操作方法を一人ずつ教わりました。木材の積込みや走行、積下ろし、また立木を掴む等の操作、そして講師が張っておいてくださった架線をお借りし、搬器の操作等を体験しました。



フォワーダを操作する研修生

R5 からの変更点：「育苗」の時限数を増やした。森林施業への理解がより深まった。

○7月の研修内容

●森林施業「技術」の習得

「下刈り」は、敷地内の平地と現場で実習を行いました。平地で基本動作を身につけたあと、現場に出ましたが、足の運び方や刈払機の扱い方など、実践的な操作に苦戦しているようでした。下刈りは夏場に行われるので、こまめな休憩や水分補給の大切さに加えて、真夏の作業の厳しさを実感しました。「つる切り、除伐、枝打ち」の実習は、下刈りと併せて現場で行いました。鉋や鋸などの手道具の使い方も学びました。

「林内路網（バックホー基本操作）」「チェーンソー伐木造材技術」「高性能林業機械運転技術（グラップル、フォワーダ基本操作）」では、3班に分かれて研修を実施しました。特に、チェーンソー伐木造材技術では、研修生全員が初めての伐倒を経験し、課題や目標を再認識しました。



初めての伐倒を経験する研修生

●インターンシップ

最終週の三日間は、「就業体験（インターンシップ）」を県内の森林組合や林業事業体で行いました。研修生一同多くの課題を発見し、終了後はお互いに体験した仕事やご指導いただいたことを共有して学びを深めていました。

R5 からの変更点：「林内路網」等について、3班に分かれて実施。待機時間の減など効率的な実習につながった。

「下刈り」の実習を増やした。より実践的な技術の習得につながった。

○8月の研修内容

●森林・林業に関する幅広い「知識」の習得

「林業経営の基礎」の講義では、浜中会津の林家の方にお話を伺いました。これまでの苦勞、利益を出すための工夫、地域による特性等を聞き、就業に対する意識を高めるとともに、他の研修等でお話を伺うことが多い林業事業体や森林組合等との経営の違いを学びました。

木材関係では、「木材流通概論」「原木市場」「木材加工」「木質バイオマス利用」の講義を一週間かけて受講し、流通の仕組みや木材の構造等について理解を深めていました。

●インターンシップ

県内で林業を営む22の林業経営体にご参加いただき、就業ガイダンスを開催しました。研修生はたくさんの林業経営体と話す機会を得ることで、就業に対する考えをまとめることができました。



就職ガイダンスの様子

○9月の研修内容

●森林・林業に関する幅広い「知識」の習得

「ドローン技術」の講義では、苗木運搬用の大型ドローンの操縦とドローン全般の知識を学びました。

「林業 ICT と森林 GIS の基礎」の講義を3日間行いました。高精度で測位が可能な GNSS（全球測位衛星システム）を使用した測量を行い、地理情報システム QGIS で地形図の確認や材木の樹種判別など、データの扱い方を学びました。最終日には3日間の総括として、それらを活用して人工林を主伐する計画を立てて全員で説明し合いました。



ドローンの操作体験をする研修生

●森林施業「技術」の習得

「チェーンソー伐木造材技術（JLC/WLC 伐木競技から学ぶ安全技術）」の講義では、ハスクバーナの講師をお招きし、安全で正確なチェーンソー技術を学びました。入講してから約5ヶ月の間、カリキュラム及び日々の自主練習でチェーンソーの技術を高めていた研修生でしたが、日本伐木チャンピオンシップの基準に沿って採点すると、思っていたほど点数を取ることができなかったようで、悔しそうにしていたことが印象的でした。自身の実力を認識したことで、より一層の技術向上へ意識を高めることができたようです。

●資格の取得

ロープ高所作業特別教育と小型移動式クレーン運転技能講習を受講し、修了に必要な資格を2つ増やしました。

R5 からの変更点：「チェーンソー伐木造材技術」について、時限数を増やし、講師人数も増やした。より実践的な技術の習得につながった。

令和6年度林業アカデミーふくしま短期研修 実績

No.	講座名	開催日 (研修日数)	研修目的・必要性	主な対象者	定員	受講者 合計	方部別								所属別					
							県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	市町村	事業体	関係団体	県職員	その他		
1	森林・林業の基礎	R6.4.24～4.25 (2日)	森林・林業に関する基礎的な知識習得	市町村林務担当職員等（初任者）	20	20	6	7		2	1	4		15	5					
2	森林整備事業の実務	R6.5.10 (1日)	森林整備の実務に必要な知識習得	市町村林務担当職員等（実務担当者）	20	9		5		1		3		9						
3	森林計画制度 (兼)林業職員新任者研修	R6.5.23～5.24 (2日)	森林計画制度の実務に必要な知識習得	市町村林務担当職員等（実務担当者）	20	22	5	7		6		3	1	12			10			
4	森林土木事業の実務	R6.5.29～5.30 (2日)	森林土木事業の監督業務、積算業務等に必要な知識習得	市町村林務担当職員等（実務担当者）	20	13		6	2	2		3		13						
5	測量・森林調査の基礎 (兼)林業職員新任者研修	R6.6.6～6.7 (2日)	測量（コンパス測量、レベル測量、ポール測量）機器等の取り扱い、測量手法、図面の作図などの実務習得	市町村林務担当職員等（実務担当者）	12	19	8	4	1	3	2	1		4	5		10			
6	森林経営管理制度の実務 （市町村対象） (兼)林業職員新任者研修	R6.9.19～9.20 (2日)	森林経営管理制度の実行に係る意向調査、経営管理権集積計画作成、経営管理実施権配分計画作成等の知識習得	市町村林務担当職員（実務担当者）	20	13	3	6				3	1	9			4			
7	路網整備と作業システム (兼)林業職員新任者研修	R6.7.24～7.26 (2日)	路網整備と作業システムに関する基礎的な知識及び技術の習得 地域の効率的な施業方法等を計画・実行できる技術者の育成	市町村林務担当職員（実務担当者） 林業従事者 等	20	5	4	1						2			3			
8	森林経営管理制度の実務 （林業事業体対象）	R6.8.8 (1日)	森林経営管理制度の実行に係る意向調査、経営管理権集積計画作成、経営管理実施権配分計画作成等の知識習得	林業従事者 等	20	8	2		3			3			8					
9	提案型集約化施業実践 ※森林施業プランナー フォローアップ研修	R6.7.9～7.10 (2日)	森林所有者に対する施業提案書の作成や提示、森林施業の集約化等、森林経営計画作成の技術者を育成	森林施業プランナーを目指す者 等	12	10		2	1	1	1		5	1	4		5			
10	伐倒技術のチェックと改善	R6.9.24～9.27 R6.10.8～10.10 (7日)	伐倒作業時の労働災害防止に向け、チェーンソーによる安全・正確な伐倒技術を有する技術者育成	林業従事者 等 ※伐木等の業務に係る特別教育修了者	3	3			2				1		3					
11	最先端の林業技術 (兼)林業職員新任者研修	R6.8.22～8.23 (2日)	森林施業の効率化・省力化を可能にするため、ICT等の最新の林業技術習得	市町村林務担当職員（実務担当者） 林業従事者 等	15	12	4	3	2		2	1		3	5		4			
12	森林・林業でのドローン活用 (兼)林業職員新任者研修	R6.8.27～8.30 (4日)	森林整備事業の実施に係る申請・検査の省力化、森林情報の管理体制の強化等を図るためドローンの操縦技術や撮影、画像解析等の技術習得	市町村林務担当職員（実務担当者） 林業従事者 等	12	7	2	2	3					2	4		1			
合計		(29日)			194	141	34	43	14	15	6	21	8	70	34		37			

令和6年度林業アカデミーふくしま 短期研修 実施状況写真①



森林・林業の基礎

R6.4.24~25



森林整備事業の実務

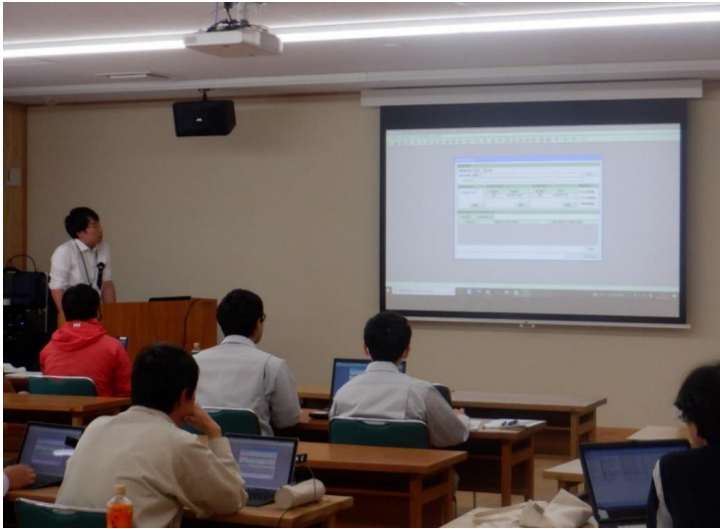
R6.5.10



森林計画制度

R6.5.23~24

令和6年度林業アカデミーふくしま 短期研修
実施状況写真②



森林土木事業の実務

R6.5.29～30



測量・森林調査の基礎

R6.6.6～7



森林経営管理制度の実務
(市町村対象)

R6.9.19～20

令和6年度林業アカデミーふくしま 短期研修 実施状況写真③



路網整備と作業システム

R6.7.24～26



森林経営管理制度の実務
(林業事業体対象)

R6.8.8



提案型集約化施業実践

R6.7.9～10

令和6年度林業アカデミーふくしま 短期研修
実施状況写真④



伐木技術のチェックと改善

R6.9.24～27

R6.10.8～10



最先端の林業技術

R6.8.22～23



森林・林業でのドローン活用

R6.8.27～30